

編修趣意書

(教育基本法との対照表)

受理番号	学校	教科	種目	学年
29-41	高等学校	外国語	コミュニケーション英語Ⅲ	
発行者の 番号・略称	教科書の 記号・番号	教科書名		
15 三省堂	コⅢ 330	MY WAY English Communication Ⅲ New Edition		

1. 編修の基本方針

本書は、英語教育を通して、次の3点を教育理念として掲げる。

1. 「ことばの教育」に資する

コミュニケーションのためのことばの知識・技能の習得に加えて、ことばに対する興味・関心を高め、思考力・判断力・表現力を伸ばし、豊かな言語観を育成する。

2. 「国際理解教育」に資する

ますます複雑化する国際社会の中で、比較文化の視点に立ち、世界のさまざまな言語や民族に対して目を向けさせ、人類としての共通性だけではなく地域や民族の個性も同時に尊重し合う、豊かな文化観と真の国際理解の基礎を養う。

3. 「人間教育」に資する

今日のグローバル社会に生きる子どもたちに、英語を学びながら、人間としての生き方やものの見方、考え方、ならびに世界観に目を向けさせ、社会の中で自らの力で考え、判断し、表現できる力を培う。

英語教育は、学校教育の一環としての人間形成の教育であり、ことばの教育を教科独自の課題とし、国際理解教育に対してはとりわけ大きな役割を担っている。この認識に基づき、上記3点の教育理念を具現化するため、特に次の5点を編集の基本方針とする。

- ことばと人間との関係やことばと社会との関係など広くことばへの関心を高め、豊かな言語観を育てる。
- ことば、文化、民族の多様性とその共存を国際理解の基本理念とし、国際感覚と国際協調の精神の育成を図る。
- 言語能力の本質としての思考力の養成を土台として、英語の基礎的な知識や技能の習得、コミュニケーション能力の養成を図る。
- 実際のコミュニケーションにおけるメッセージの役割を重視し、生徒の興味・関心を喚起する題材内容を提示するとともに、「言語の使用場面」と「言語の働き」に留意しながら、創造的な言語活動を目指す。
- 中学校および「コミュニケーション英語Ⅰ・Ⅱ」における学習で習得した基礎的な能力を更に伸長させながら、4技能における言語活動の総合的かつ統合的な関連を図る。

2. 対照表

図書の構成・内容	特に意を用いた点や特色	該当箇所
題材	①各課でとりあげた題材については、幅広く高校生の知的興味・関心を高めるものを選択し、「生きる力」を育成するに資するテーマを配置した。(第1号)	各Unit (Reading Skill 1-11, 本課Lesson 1-14)
	②読み物教材においては、高校生の感性に訴える作品を配置した。(第1号)	Reading1, 2
	③キャリア教育(第2号)、正義と責任(第3号)、科学教育・環境教育(第4号)、生命の尊重(第4号)、平和教育(第5号)、および国際理解教育に結びつくものとして、わが国の伝統文化や他国の文化を扱ったもの(第5号)を配置した。	<p>自分の将来について考える(第2号) Reading Skill 4, 5(GET), Lesson 2, 3, 5, 9, 13</p> <p>正義と責任(第3号) Reading Skill 4, 9(GET), Lesson 2, 5, 9, 12, 13</p> <p>科学教育・環境教育(第4号) Reading Skill 2, 3, 4, 6(GET), 7(GET), 8(TRY), 9(TRY), 10(TRY), Lesson 3, 5, 6, 8, 10, 11</p> <p>生命の尊重(第4号) Reading Skill 2, 5(GET), 6(GET), Lesson 3, 8, 9, 13</p> <p>平和教育(第5号) Reading Skill 9(GET), Lesson 9, 13</p> <p>日本の伝統文化(第5号) Reading Skill 1, 10(GET), 11 (TRY), Lesson 4, 7</p> <p>他国の文化(第5号) Reading Skill 1, 6(TRY), 7(GET), 8(GET), 9(GET), 10(GET), Lesson 1, 2, 4, 7, 14</p>
言語活動	①各課末の言語活動は、取り組む生徒の個性、創造性が発揮されるようにした。(第2号)	Unit 2, 3(各課末のThink, Your Opinion)
	②ペアやグループなどの形態を重視し、生徒同士が協力して活動に取り組めるように配慮した。(第3号)	Unit 2, 3(各課末のThink, Your Opinion)
登場人物	主な登場人物の配置及び活動においては、男女・出身地域の偏りがないように配慮した。(第3号、第5号)	全Unitに渡る登場人物および活動
構成	教科書の使い方、学ぶ目標、学ぶプロセス、学ぶポイント、などが生徒たちにわかりやすく提示され、学ぶ意欲を喚起し、自ら学ぶ力が育成されるように配慮した。(第2号)	<p>もくじ / この教科書の構成と使い方</p> <p>Unit 1 (Reading Skill 1-11 / Q&A / Read Again) の構成</p> <p>Unit 2, 3 (Comprehension / Summary / Think / Your Opinion) の構成</p>

3. 上記の記載事項以外に特に意を用いた点や特色

1. 日本の文化については、理解するとともに発信していく態度を養えるように、題材や活動の面で配慮した。
2. 外国の文化については、英語を母語とする地域のみならず、国際理解の観点から他の地域の文化についても扱った。
3. ことばへの関心や人権などについても多面的に考えることができるような課を特に設けた。
4. 人間としての豊かな心や人間のもっている微細な感情を意識し、そしてまた、幅広い観点からものごとを考えることができるような習慣形成に資する読み物を配置した。
5. 環境にやさしい教科書づくりを心がけた。用紙については、環境の保護、資源の節約のため、原料や製法に配慮した環境にやさしい紙を使用した。インキについては、植物由来の油および、それらを主体とする廃食用油等をリサイクルした再生油を含んだ、印刷インキ工業連合会認定の植物油インキを使用した。

編修趣意書

(学習指導要領との対照表、配当授業時数表)

受理番号	学校	教科	種目	学年
29-41	高等学校	外国語	コミュニケーション英語Ⅲ	
発行者の 番号・略称	教科書の 記号・番号	教科書名		
15 三省堂	コⅢ 330	MY WAY English Communication Ⅲ New Edition		

1. 編修上特に意を用いた点や特色

学習指導要領の総則に示された教育の方針や高等学校外国語科の教科目標および本書の教育理念に基づき、教科書の構成・配列や各領域などの系統・内容に関して、特に以下のことに意を用いた。

(1) 基本方針

- ①多様化している生徒の実態を考慮し、質量ともに充実を図る。
- ②「コミュニケーション英語Ⅰ・Ⅱ」で学んだ内容を踏まえて、これから学習する内容との連携が円滑に図られるように配慮する。
- ③4技能のバランスを重視し、総合的・統合的に英語でのコミュニケーション能力が育成できるように、構成・内容を工夫する。
- ④教科書の使い方、学ぶ目標、学ぶプロセス、学ぶポイントなどが、生徒たちにわかりやすく提示され、学ぶ意欲を喚起し、自ら学ぶ力が育成されるように配慮する。
- ⑤基礎的な知識や技能を確実に習得し、およびそれらの知識や技能を実生活の中で活用できる力を、繰り返し段階的に育成できるような教科書構成にする。
- ⑥英語の文章を読んだり聞いたりすることにより、視野を広げ、ことば・文化・人間・社会・自然などについて考えたり、多くの人と関わる経験をする中で、思考力・判断力・表現力を養えるような配慮をする。また、そうした活動・体験を通して、他を受け入れ、個人の価値を尊重することのできる豊かな心を育成し、自分の考えや自分たちの文化を外に発信していける力を培える内容にする。
- ⑦学んだ内容の深化・発展に弾力的に取り組めるように、課末の課題および活動などを工夫する。

(2) 本書の特色と編集上の留意点

A. カリキュラムと分量

教材の精選をはかり、カリキュラムにゆとりをもたせた。

B. 題材内容

- 1) ことばの教育、国際理解教育、人間教育を題材内容の基本とし、これらの領域で生徒の知性や感性を考慮して、生徒の興味を喚起する内容にした。
- 2) 題材は、日常生活・学校生活、国際協力や社会貢献、言語と民族、人権、比較文化、平和や地球環境、動物との共生、自然科学や芸術、IT社会、伝統文化、歴史、スポーツ、健康、人間としての生き方など多様な内容にした。文章は、説明文、エッセイ、論説文、対話文、物語など変化をもたせた。
- 3) 場面や登場人物は、英語が広く使われている現況と国際理解の課題との関係から、日本を中心に、英米を中心とした英語圏諸国、アジア、ヨーロッパ、中南米の国および人物を配置した。

C. 言語材料の扱い

- 1) 言語材料は、活発で多様な言語活動を展開することができるように配慮した。
- 2) 「文法事項」は表現活動に活用することを基本として、「コミュニケーション英語Ⅰ・Ⅱ」で学習した、基本的なものから発展的なものまでを総合的に扱った。

- 3) 「文構造」は、英語で言語活動を行うにあたって使用できるように、より運用度が高いものを扱った。
- 4) Unit 1 には、Reading Skill を設け、「コミュニケーション英語 I・II」における学習の確認とし、Unit 2・3に負担なく移行ができるように配慮した。
- 5) 「単語」は、中学既習語を1,022語、「コミュニケーション英語 I・II」での既習語を1,109語とし、それ以外の語を新語(667語)として傍注で示した。また、「連語・熟語」「慣用表現」については、傍注下段で示した。
- 6) 「音声」については、標準的な米音を基本とした。

D. 言語活動

言語活動は、主に本課本文、Your Opinionなどで、言語の「使用場面」を考慮し、4技能の総合的・統合的な関連が図れるようにした。また、「言語の働き」に留意し、特に会話で多用される慣用的な表現についても、「コミュニケーション英語 I・II」における学習を踏まえながら、基本的なものを精選して系統的に扱った。

E. 本書の構成と内容

- 1) 全体構成は、生徒の学習段階を考慮して、Unit 1・2・3の3つのUnit に分けられている。
- 2) 各課の本課本文は、4技能の習得を目指す総合的な教材とした。各課本文の語数は、130語程度から650語程度までの間で段階的に構成した。
- 3) 各ページの傍注には新語、傍注下段には「連語・熟語」「慣用表現」を示し、さらにUnit 2・3にはT・F テストを配置した。
- 4) Unit 1 の練習問題は「Q&A」と「Read Again」、Unit 2・3は、各課末の「Comprehension」「Summary」「Think」「Your Opinion」で構成し、4技能の言語活動が、総合的・統合的に行われるように配慮した。「Q&A」は、本文の内容確認の問題。「Read Again」は本文の各パラグラフごとに内容をまとめる問題。「Comprehension」は本課全体の内容確認および本課の中心的なテーマをつかむための読解問題。「Summary」は本文の内容の要約問題。「Think」は、PISA型読解力の発問。「Your Opinion」は、本文の内容に関連して自分の考えを発信する創造的な言語活動とした。
- 5) 「Reading Skill」は、Unit 1に11のSkillを配置し、読み方の技術としての基本を系統的に示した。
- 6) 課間に配置した「Signs around Town」では、実際の看板によるオーセンティックな英語を示し、「Words and Culture」では、単語のもっている文化的な意味に触れる機会を用意した。また、「Read Aloud」では、ナースリータイム、俳句、詩を用いて、音のリズム、イントネーション、強勢、音のつながりなどが学習できるようにした。
- 7) 巻末付録には「Word List A・B」「Idiom List」を設け、「コミュニケーション英語 I・II」における既習語と新出語を掲載し、新出語には初出ページを示した。

2. 対照表

	図書の構成・内容 (■=本課など ●=課間 ◎=付録)	学習指導要領の内容
言語活動	<p>■Unit 1, 2, 3, Reading本文 さまざまな題材に関する英文を聞く。</p> <p>■Unit 1(Q&A), Unit 2, 3(Comprehension) 本文の内容についての質問を聞いて、それに答える。</p> <p>■Unit 2, 3(T-F問題) 題材内容に関する文の聞き取りをする。</p>	第2款 第4 2 (1) ア
	<p>■Unit 1, 2, 3, Reading本文, Reading1, 2(Comprehension) さまざまな題材に関する英文を、速読または精読する。内容が効果的に伝わるように音読する。</p> <p>■Reading Skill 1-11 読む活動の深化のため、読むためのコツを学ぶ。</p> <p>■Unit 1(Q&A), Unit 2, 3(Comprehension) 本文の内容の要点をとらえる英文を読む。</p> <p>■Unit 2, 3(Summary) 本文の概要をとらえる英文を読む。その英文を音読し、暗唱する。</p> <p>●Read Aloud リズムに注意して、聞き手に伝わるように音読や暗唱を行う。</p>	第2款 第4 2 (1) イ
	<p>■Unit 2, 3(Think) PISA型の読解力を養い、自分の意見を述べる。</p> <p>■Unit 2, 3(Your Opinion) 本文の内容に関連して対話やスピーチを行ったり、話し合って結論をまとめたりする。</p>	第2款 第4 2 (1) ウ
	<p>■Unit 1(Read Again), Unit 2, 3(Summary) 本文の概要について書く。</p> <p>■Unit 2, 3(Think, Your Opinion) 本文の内容に関連して、調べたことや自分の考えを書く。</p>	第2款 第4 2 (1) エ
言語活動の配慮事項	<p>■Unit 1, 2, 3, Reading本文, Reading1, 2(Comprehension) さまざまな題材に関する英文を聞き、内容の展開が伝わるように読む練習をする。</p> <p>■Unit 1(Read Again), Unit 2, 3(Summary) 本文の内容の展開が伝わるように読む練習をする。</p> <p>■Unit 2, 3(Your Opinion) 本文の内容に関連して、調べたことや自分の考えについて話す練習をする。</p> <p>●Read Aloud 英語の音声的な特徴を学ぶ。</p>	第2款 第4 2 (2) ア
	<p>■Unit 1, 2, 3, Reading本文 論点や根拠を明確にしなが、文章の構成に注意して読む。</p> <p>■Reading Skill 1-11 読む活動の深化のため、文章の構成などに注意しながら読む練習をする。</p> <p>■Lesson 7 図表との関連を考えながら読み、図表に基づいた文章を書く。</p>	第2款 第4 2 (2) イ
	<p>■Unit 1, 2, 3, Reading本文 背景となる知識を活用して、英文を聞いたり読んだりする。</p> <p>■Reading Skill 4 未知の語の意味を推測しながら読む。</p>	第2款 第4 2 (2) ウ
	<p>■Unit 2, 3(Think, Your Opinion) 本文の内容に関連して、調べたことや自分の考えを、説明や描写の表現を工夫して書き、話す。</p>	第2款 第4 2 (2) エ
言語活動の取扱い	<p>■各Reading Skill, Lesson, Readingの内容 学習指導要領で例示された場面について、各単元で取り扱うよう適切に配置している。(→カリキュラム表参照)</p> <p>各Reading Skill, Lesson, Readingの言語活動では、当該の言語材料が効果的に使われるように配慮し、それらの定着を図るとともに、使用場面を明確に提示し、場面に応じた表現の練習ができるようにした。</p> <p>さまざまな学習形態の言語活動を配置し、ペア・ワークやグループ・ワークなどの多彩な授業展開ができるように配慮した。</p> <p>■Unit 1(Q&A, Read Again), Unit 2, 3(Comprehension, Summary) 英語で行われる授業の進行を促すように配慮した。</p> <p>■Unit 2, 3(Think, Your Opinion) 英語で行われる授業の進行を促すように、またさまざまなテーマについての対話や討論、スピーチができるように配慮した。</p>	第2款 第4 3 第3款1 第3款3イ 第3款4 第4款2 (1) 第4款2 (4)
音声	<p>■傍注欄 新出語の発音表記とともに、発音の練習をする。</p> <p>●Read Aloud ナーサリーライム、俳句、詩を用いて、音のリズム、イントネーション、強勢、音のつながりなどを学習する。</p>	第4款2 (2)

<p>単語・表現</p>	<p>■傍注欄 本文中の新出の語を提示した。傍注下段には本文中の「連語・熟語」「慣用表現」などを提示した。 ●Words and Culture 単語の文化的な意味を示し、語彙定着の一助となるように提示した。 ◎WORD LIST, IDIOM LIST 本文中に出てくる新出語、連語・熟語について、アルファベット順に示した。 ■Unit 1, 2, 3, Reading本文 表現は現代の標準的な英語によるものとした。</p>	<p>第3款2ア (ア) 第3款2ア (イ) 第3款3ア</p>
<p>文構造 文法</p>	<p>■Unit 1, 2, 3, Reading本文 表現活動に活用することを基本として、「コミュニケーション英語 I・II」で学習した、基本的なものから発展的なものを総合的に扱った。</p>	<p>第3款2イ・ウ 第3款3イ・ウ</p>
<p>題材</p>	<p>■Unit 1, 2, 3, Reading本文 本文や言語活動においては、生徒の発達段階および興味・関心に即した題材を配置した。 題材を選定するにあたっては、「ことばの教育」「国際理解教育」「人間教育」の領域をバランスよく配置した。 形式は、説明文、エッセイ、論説文、対話文、物語など変化をもたせた。 場面は日本を中心に、英米を中心とした英語圏諸国、アジア、ヨーロッパ、中南米の国を配置した。 登場人物の出身国は、日本、英語圏、その他の国をバランスよく配置した。</p>	<p>第4款2 (1)</p>
<p>中高 接続</p>	<p>■Unit 1, 2, 3, Reading本文 言語材料は、表現活動に活用することを基本として、中学校や「コミュニケーション英語 I・II」で学習した、基本的なものから発展的なものを総合的に扱い、繰り返し定着を図るように配慮した。</p>	<p>第2款 第4 3</p>
<p>自立 学習</p>	<p>◎CONTENTS, この教科書の使い方 1年間の学習内容(題材、本文形式、語数)を一目でとらえられるように提示し、計画的な学習を促す。 ■傍注欄 本文中の新出の語や「連語・熟語」「慣用表現」を提示した。 ●Signs around Town 実際の看板によるオーセンティックな英語を提示した。 ◎WORD LIST, IDIOM LIST 本文中に出てくる新出語、連語・熟語について、アルファベット順に示した。</p>	<p>第4款2 (3)</p>

※配当時間については、別紙カリキュラム表を参照。

カリキュラム表

RS = Reading Skill, [G] = GET, [T] = TRY, L = Lesson, R = Reading

課	タイトル	主な言語材料	題材/場面	はたらき	L	S	R	W	配当時間
RS1	Greetings in the World	主語と述語動詞	ことば	要約する	○	○	○	○	1
RS2	The Toughest Creatures	フレーズ・リーディング	生物	推論する	○	○	○	○	1
RS3	A Digital Detox	代名詞	情報社会	助言する	○	○	○	○	1
RS4	An Architect Shigeru Ban	未知語の推測	芸術	言い換える	○	○	○	○	1
RS5 [G]	Laughter Therapists	パラグラフ構成	健康	理由を述べる	○	○	○	○	1
RS5 [T]	Secrets of <i>Janken</i>	パラグラフ構成	心理	理由を述べる			○	○	1
RS6 [G]	Wild Raccoon Dogs in Tokyo	ディスコースマーカー：列挙・例示	動物	注意を引く	○	○	○	○	1
RS6 [T]	The Language Café	ディスコースマーカー：列挙・例示	ことば	説明する			○	○	1
Signs around Town 1									0.5
Words and Culture 1									0.5
RS7 [G]	The High Line	ディスコースマーカー：時間的順序	都市環境	描写する	○	○	○	○	1
RS7 [T]	How Fast Can Humans Run?	ディスコースマーカー：時間的順序	スポーツ	要約する			○	○	1
RS8 [G]	Shortened Words in Texting	ディスコースマーカー：比較・対照	ことば	話題を発展させる	○	○	○	○	1
RS8 [T]	Plant Factories	ディスコースマーカー：比較・対照	科学技術	要約する			○	○	1
RS9 [G]	Neighbors' Day	ディスコースマーカー：原因・結果	地域社会	理由を述べる	○	○	○	○	1
RS9 [T]	Bicycle Sharing	ディスコースマーカー：原因・結果	環境	理由を述べる			○	○	1
RS10 [G]	Thirty-Six Views of the Eiffel Tower	スキミング	芸術	話題を発展させる	○	○	○	○	1
RS10 [T]	Blue Roses	スキミング	科学技術	主張する			○	○	1
RS11 [G]	Join the ABC Tennis Club!	スキヤニング	広告/地域での活動	注意を引く	○	○	○	○	1
RS11 [T]	Kyoto One-Day Tour	スキヤニング	広告/旅行	誘う			○	○	1
Words and Culture 2									0.5
Read Aloud 1									0.5
Idioms									0.5
L1	Narrow Boats in Britain	助動詞のついた受け身 / 比較級・最上級 / 関係代名詞 what	異文化・歴史 / 本	話題を変える 要約する	○	○	○	○	3
L2	A Mayor of Machu Picchu Village	help+O+動詞の原形 / 分詞構文 / 関係副詞の非制限用法	生き方・国際交流 / 雑誌	話題を発展させる 推論する	○	○	○	○	3
L3	iPS Cells	it is ~ that ... / 助動詞のついた受け身	科学・医療 / 新聞・インターネット	説明する 注意を引く	○	○	○	○	3
L4	Roman Baths	seem to ~ / so ... that ~ / 部分否定	異文化・歴史 / 本	推論する 報告する	○	○	○	○	3
Signs around Town 2									0.5
Read Aloud 2									0.5
L5	Artificial Intelligence	現在完了の受け身 / 関係代名詞 what / no matter ~	科学・社会 / 雑誌	言い換える 説明する	○	○	○	○	3
L6	Digital Books vs. Printed Books	関係代名詞の非制限用法 / how to ~	文化・日常生活 / 学校での活動	主張する 反対する	○	○	○	○	3
L7	Buckwheat around the World	比較・倍数表現 / 助動詞のついた受け身	比較文化・食物 / 本	描写する 言い換える	○	○	○	○	3
L8	A Message from Small Creatures	関係代名詞の非制限用法 / 助動詞のついた進行形	環境・共生 / 本	報告する 推論する	○	○	○	○	3
Signs around Town 3									0.5
Words and Culture 3									0.5
Proverbs									0.5
L9	Aung San Suu Kyi	現在完了の受け身 / 仮定法過去完了 / 過去完了進行形	生き方・平和 / 新聞	仮定する 誘う	○	○	○	○	5
L10	The Wonders of Memory	倒置 / 過去完了	脳科学・学習 / 雑誌	報告する 助言する	○	○	○	○	5
L11	A Moment Makes a Great Difference	関係副詞 / it is ~ that ... / 部分否定	現代社会・技術 / 雑誌	理由を述べる 報告する	○	○	○	○	5
Read Aloud 3									0.5
Words and Culture 4									0.5
L12	Media Literacy	前置詞+関係代名詞 / had better ~ / 否定の倒置	情報社会・倫理 / 新聞	助言する 言い換える	○	○	○	○	5
L13	Obama's Speech in Hiroshima	無生物主語 / it seems that ~ / 前置詞+関係代名詞 /	平和・演説 / 新聞	話題を発展させる 誘う	○	○	○	○	5
L14	A Variety of "Englishes"	省略 / 関係代名詞の非制限用法	ことば・国際社会 / 本	話題を変える 要約する	○	○	○	○	5
Signs around Town 4									0.5
Read Aloud 4									0.5
R1	A Special Moment in the Third Period	形式目的語 / 付加疑問文 / 間接疑問文	物語/本・電話	推論する 驚く 聞き直す 誘う	○	○	○	○	6
R2	Rules are Rules?	be to不定詞 / 過去完了 / 倒置	物語/本	命令する 驚く 聞き直す	○	○	○	○	6
Word List									
Idiom List									